



瑞江中学校だより

令和6年11月11日

江戸川区立瑞江中学校

第 7 号

立冬の候、地域・保護者の皆様には、いつも生徒を温かく見守っていただき、感謝しております。ホームページの【教育活動】の【学力調査】に3年生が春におこなった「全国学力学習状況調査」の結果をアップしました。東京都の平均に届かない状況ですが、昨年度よりは大幅に上昇しました。また今年度から始めた1. 2年生の「家庭学習ノート」を毎日しっかり提出して学習習慣が付いてきた生徒は、順調に学力が向上しているようです。提出習慣がついていない生徒は頑張らしましょう。保護者の皆様には、週に1回でもタブレットでの学習状況とこのノートをご覧いただき生徒の努力を評価していただければと思います。

また体力調査は、分析を元にした指導を始めており、本日も道徳授業地区公開講座を行います。おおむね順調に各種指導が行われ、生徒の成長も確かなものになりつつあります。

30年ほど前、いわゆる詰め込み教育からの脱却を目指し、授業時数を極端に減らし、自ら学び育つ力をつけさせようとしたところ、深刻な学力低下がおきて方針を転換しました。現在は、育成を目指す資質・能力を明確にし、知識及び理解の習得と思考力、判断力、表現力等のバランスを重視した教育を実践しながら、誰一人取り残すことのない「令和の日本型学校教育」の構築を目指していますが、また教える内容が多すぎるとの意見が「カリキュラム・オーバーロード」と名前を変えて提起されています。

それはさておき、瑞江中学校ではいつの時代でも必要とされる基礎・基本を身に着けさせるため、学校を挙げて用務主事も「家庭学習ノート」の点検をしたり、主事室前に生徒に関心をもって欲しい題材を提供したりして、学校全体で教育活動を推進しています。

いまは学校前の街路樹と校内の樹木から、いざという時の非常食料にもなる（アクの少ない）ドングリを2種類、さりげなく置いてあります。興味をもって調べたら、ドングリの実のできる量は隔年で増減することがわかり、隔年で熊の被害が大きくなる事との関係に気付くかも知れません。

以前は、学校の敷地内で見られる、アオスジアゲハの幼虫（これは、江戸川区の木であるクスノキの葉を食べて育ちます。主事室前の廊下でさなぎになり成虫になって飛んでいきました。）、トノサマバッタ等も観察できました。図書室にしまい込まれていた新聞や書籍を廊下に出して手に取りやすくする試みもすすめていて、生徒が登校して学校生活しているだけでも様々な気付きがあり成長できる「学習の質を上げる学校づくり」に取り組んでいます。多くの生徒は自分のことで精一杯だった小学生の頃と違い、集団の中の自分、自然の中の自分を自覚できるようになり、立冬のようにわかりやすい季節の変化を愛でる事もできるようになってきたことが、会話の端々から伝わって生徒の成長を感じています。

なお、20年以上前から主事室前の廊下に「財団法人東京都公園協会の東京都都市緑化基金」の募金箱があったそうです。だれが管理しているかわからなかったので、寄付されていた4326円を取り出して基金に送金し、お礼に花の種をいただきましたので花壇に蒔き、今後はこの募金箱は撤去する予定です。



2024年11月1日
オンブバッタのオス

アオスジアゲハ
幼虫



エンカレッジルーム・校内別室登校

本校の学区域には小学校時代から学校に足が向かなかった生徒も多く、東京都から令和 5・6 年度の 2 年間限定で「別室指導支援員」を配置していただき、現在は 4 名の方においでいただいています。しかし令和 7 年度からは本校教職員だけで「エンカレッジルーム」などの運営をする、本来の状況に戻るだけでなく、『江戸川区 Hot Project』にある「第 2 のエンカレッジルーム」設置も視野に、生徒の皆さんには、教室に入ることが難しくても是非学校に来て欲しいこと、できるだけ教室で一緒に学習できるための環境整備を進めていること。「エンカレッジルーム」などを活用する場合のルール作りを進めていることを伝えていきます。



もちろん、瑞江中学校への登校が難しい場合、篠崎中学校のチャレンジクラスの活用や、区で行っている学習サポート教室への通室なども引き続きご紹介するとともに、学校以外の教育施設で学ぶ生徒の応援も続けていきます。

校則の見直し

現在本校の決まりは、ホームページにある校則と、先生方が使用している生徒の決まりが書かれたいくつかのものと、生徒手帳の記載、各学年の指導内容に齟齬（そご）があり、わかりにくくなっているため、生徒の意見も踏まえて生活指導部を中心に、整理しています。

近々変更を考えているのは、生徒からも要望があがっている『生徒が登下校する際、第二通用門を使用する。下校のみ正門を使用しても良い。』という指導を変更して、生徒は登校時も正門を使用してもよいとすることです。不都合があればお知らせください。

交通ルールの再確認を

毎日正門前の横断歩道を渡っていますが、歩行者がいれば、車もバイクも 100%一時停止をして歩行者を通してくれます。学校の前で大きな標識があるとは言え、地域の方々の遵法精神には感服いたします。

学校では生徒の生命を守るため、自転車乗車時のヘルメットの着用を指導しています。保護者の皆様には、改めて、お子様が自転車に乗る機会がある場合には、生徒用のヘルメットのご用意と、生徒がヘルメットを着用するよう指導をして下さいますよう、お願いします。

また保護者の皆様が保護者会や運動会、学校公開などで、瑞江中学校に自転車でお出でになる際は、生徒の手本となるよう、ヘルメットの着用をお願いいたします。

ところで、11 月 1 日から自転車等による交通事故を防止するため、改正道路交通法が施行されました。自転車の運転中にいわゆる「ながらスマホ」をすることが禁止され、16 歳以上の違反者は 6 ヶ月以下の懲役または 10 万円以下の罰金で、交通の危険を生じさせた場合はさらに重く、1 年以下の懲役または 30 万円以下の罰金となりました。罰則対象外の中学生だからやってもよいということにはなりません。

また、自転車の酒気帯び運転のほか、酒類の提供や同乗・自転車の提供に対して新たに以下の罰則が整備されました。お酒を飲んだ人に中学生が自転車を貸すことがないように、指導することも必要です。

違反者：3 年以下の懲役または 50 万円以下の罰金

自転車の提供者：3 年以下の懲役または 50 万円以下の罰金

酒類の提供者・同乗者：2 年以下の懲役または 30 万円以下の罰金

チャレンジ・ザ・ドリーム

10月21日(月)～25日(金)

5日間、キャリア教育部が主催して、2年生を対象にチャレンジ・ザ・ドリームを行いました。職場体験などが主な内容です。ご協力いただいている事業所のおかげで、生徒の頑張っている様子を伺う事ができ、親でも教員でもない大人の方々と過ごす時間が、生徒を大きく成長をさせていることがよくわかります。反面、生徒側の心構えの不足から、成果を感じにくかったこともあるようでした。反省を次年度以降の事前指導に活かしていきます。なお、令和7年度から本校では、教育課程外の林間学校をやめて、教育課程に位置づけた移動教室を実施し、その中の1日をチャレンジ・ザ・ドリームに位置づける計画で、区教委に認められれば、区内の事業所をお願いするのは4日間となります。

高校の先生の話聞く会

10月23日(水)

生徒の状況を踏まえ、進路説明会の前にお招きして「高校の先生の話聞く会」を実施し、進路選択や面接試験に向けたマナーなどを学びました。年度当初からの計画でなかったため、今回は3年生のみの参加となりました。以下生徒の感想からです。

- ・身だしなみを整えることの意味を教えてくださいました。
- ・自分の苦手としていることも個性として捉えることができるかもしれないとわかりました。
- ・私は少し緊張しやすいので面接で言葉遣いを間違えたらどうしようと気にしていましたが、面接官は「努力している」と受け取ってくれていることもあるとわかりました。
- ・自己PRは、ふわっと言いたいことを頭に入れておけば良いという話を伺い、考えていたことを暗記しておく必要がないことがわかり安心しました。
- ・高校入試のことや面接試験について知らないことがたくさんあることに気付きました。
- ・もう少し高校のことを自分で調べて志望校に行けるように頑張ります。

進路説明会

10月24日(木)

都立高等学校の募集要項が各中学校に届いたこの日、3年生の生徒と保護者が並んで座る形で、進路説明会を実施しました。親子で確認していただく必要がある重要な内容でしたので、お仕事の都合で参加できなかった保護者の方は、生徒から詳細に聞き取り、遺漏なきようご準備をお願いいたします。

1.2年生の保護者の方も、33名参観してくださいました。

- 義務教育修了後どのように生活するかという「進路選択」・「進路決定」・「入試の続き」・「合格後の手続き」などは、中学校の先生が行う事ではなく親子で行う事で、自宅からインターネットで保護者のクレジットカード情報を入力したりすることもあるなど、未成年の生徒だけでは困難です。
- 中学校の先生は、生徒・保護者の依頼を受けて中学校時代の生徒の生活の様子を「調査書」(学校では使わない言葉ですが、「内申書」と言う人もいます)にして高校に提出したり、入学願書に受検資格があるかどうか証明したりしてサポートする立場です。書類は、授業や委員会指導・部活動などの合間や勤務時間外に作るのですが、提出期限の厳守にご協力下さい。

○高校入試は、各高校等がそれぞれ要項を作成して実施することです。受験の詳細は、主催者である高校に確認する事が最も正確です。また、進路希望先を選定する際、いわゆる受験雑誌などの本や他人の噂、塾の先生の話やネット情報だけで選ぶことは考えられません。中学校としても、当該の高校などに一度も行ったことがなく、その高校の先生とお話しもしたことがない生徒の推薦や併願優遇措置を高校等にお願いすることはできませんから、生徒・保護者が上級学校等に直接出向いて個別相談を受けるなどして、進路希望先を見つけることが必要です。まだ考えているだけで行っていない高校などがあれば、高校の説明会などが終了してしまう前に早めに行きましょう。

○12月初旬に3年生全生員15分程度ずつの三者面談を行います。ここでは受験校・受験方法・中学校の先生が作成する書類の最終確認をさせていただきます。推薦などで必要な書類は直ぐに作り始め、12月15日(日)に解禁される(遅れると受付が終わってしまう場合もある)中学校の先生と高校の先生の「進路相談」に間に合わせます。中学校の先生方と相談したい場合は、必ずこの12月初旬の面談よりも前に済ませておいてください。

1年校外学習 10月25日(金)

様々なテーマをもって学習できたことと思います。上野公園で出会ったグループは、多摩産の木製タイルの上を歩いてみました。東京にも多摩地域を中心に山があり、木を育て環境保全や材木として活用しています。この材木や間伐材を活用することで、東京の山を健全に保とうとする試みの1つに木製タイルの道路があるのです。

ところで本校では、雨が降ると傘をクラスごとにポリバケツに入れて、階段で教室にもって上がることになっています。なぜそのようにするのか何人かに聞いたところ「玄関が狭いから」「玄関に傘を置くと盗まれるから」等の返事がありました。いくら何でも学校内で、他人の傘を盗む人はいないでしょう。

1年生は4階まで傘の入ったポリバケツ持って行くのが大変ですし、雨が降るたび廊下も濡れて滑りやすくなり危険なので、昇降口から使用していない靴箱2クラス分を撤去して、オリンピックのレガシーを展示する場所を他に換え、玄関に多摩産の木材を活用した傘立てを全クラス分置いてみようと思います。念のため、生徒は自分の傘に、目印ではなく、名前を書いて管理できるようにしてください。

なお、3学期に家庭科の調理室を改修工事しますが、その際導入する調理机も多摩産の木材を活用したものに予定しています。

学習発表会 11月1日(金)

2年前に「文化祭」を廃止することが決められ、今年度は「学習発表会」を行う事になっていたそうです。スピーチなどを披露する生徒の保護者だけに来校を案内する計画だったのですが、全校生徒の保護者にご案内を出し、132名の方においでいただきました。

QRコードでご依頼した保護者の感想は、おおむね好意的でしたが、「国語」と「英語」と「音楽」、それから「MJB(吹奏楽部)」だけの発表で他の教科は不参加でした。年度内に合唱コンクールがありますが、令和7年度以降はもう少し文化行事も充実させたいと思います。

ところで2年生が合唱した「モルダウ」について、どのように感じられたでしょうか。「懐かしい。」「歌詞が変わったかな。」など、様々あると思いますが、校長としては、昨今「難しい課題」ということで、取扱を控える学校もある中で、果敢に取り組みせ、挑戦する本校職員を頼もしく思いました。

学校の指導内容として法的拘束力のある、文部科学省作成の学習指導要領（音楽）でいわゆる「モルダウ」を、「歌唱共通教材」に取り上げたことはありません。「鑑賞教材」としては、昭和 33 年・昭和 44 年・昭和 52 年・平成元年告示のものに掲載されていましたが、平成 10 年告示以降の学習指導要領以降は「鑑賞教材」自体を示さなくなったので、現在は学習指導要領に記載されていないものです。もちろん、教科書によっては掲載してあり、教員が教材として使用する事に問題ははありません。



深い森の源流から川幅を増して合流してラベ川（ドイツ語ではエルベ川）に注ぐ様子を、曲想を様々に変えるオーケストラの多様な響きで味わわせることができる素晴らしい曲なので、毎年江戸川区内の中学 2 年生が総合文化センターに集まって開かれる「音楽鑑賞教室」の定番鑑賞曲になっています。

突然ですが、世界で一番高い山は？ 「エベレスト」とイギリス式に答えるのは昔の人でしょうか。現在は現地の言葉で「チョモランマ」ということが多いですよ。ウクライナの首都は今、ロシア語読みの「キエフ」ではなくウクライナ語の「キーウ」と呼びます。世界一周を（途中まで）行った「マゼラン」は、今「マガリャンイス」と学ぶようです。「マガリャンイス海峡」と言われてもどこだかピンときませんが、自分の国を「ジャパン」と呼ばれても「ニッポン」と呼んで欲しい。などとこだわらずに受け入れて平気な私たちも、国際化の時代、もう少し深く知り配慮する必要があるかも知れません。

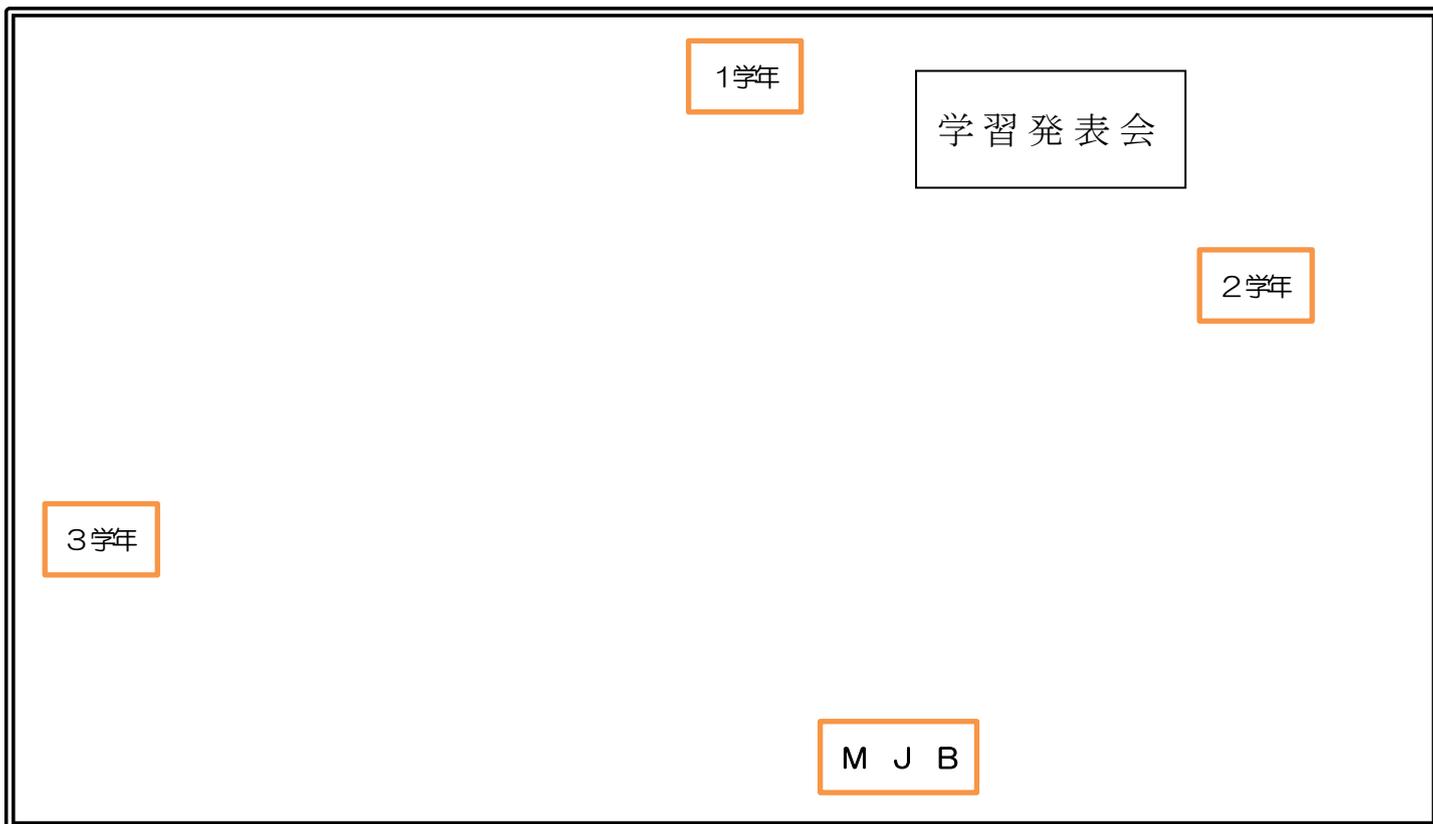
作曲者のスメタナは、チェコの独立国への想いをこの連作交響詩「わが祖国」に込めたと考えられますが、その 2 曲目 Vltava を、どのような思いで書き上げたのでしょうか。作曲した当時、オーストリア＝ハンガリー帝国（オーストリア帝国）の支配下にあったチェコスロバキア（当時はボヘミア）は、ドイツ語が公用語とされて、チェコ語を話すことすら禁じられていたそうです。

この曲を鑑賞するとき、また歌うとき、プログラムに書くとき、生徒の皆さんはチェコ語の「ブルタバ」「ヴルタヴァ」とドイツ語の「モルダウ」のどちらを使いますか。考えてみましょう。

もちろん、判断の前提となる知識についてはここに書いたことなど、示されたデータや誰かの考えを聞いて鵜呑（うのみ）にして判断するのではなく、自分で正しい資料に当たって調査することが必要です。日本語の歌詞は、岩河三郎さん植村敏夫さん平井多美子さん野上彰さん岡本敏明さんほか多くあるようですが、皆さんならこの曲にどのような歌詞をつけるでしょうか。など音楽だけではなく、国語・社会、森や川の情景については美術や理科とも関連づけて、またチェコと言えば、ヤリ投げで金メダルを取った北口榛花さんが住んでいるところで、野球の WBC で東京ドームを湧かせ、一昨日・昨日も名古屋で対戦したあの国ですから、保健体育の先生や野球部の顧問から考えるヒントが提示されるアプローチもあるかも知れません。国際理解に関わることですから、英語の授業でも取り上げられることでしょう。

生徒一人一人が学んだこと・これから学ぶこと・自分で調べて補ったことなどを総合的に結びつけて考え、判断して表現する学習の題材として使われることがある難しい課題の「モルダウ」を学校で取り上げる以上は、先生方は相当な覚悟をもって取り組んでくれるのだと思います。

生徒が直接現地に出向くことができればよいのですが、なかなか難しいでしょう。それでもどんな川なのか写真や動画を検索してみた生徒も多いと思います。昔と今では生徒一人一人に求められる学力が変わっている、生徒にタブレット PC を持たせることはもちろん、それを指導する教員に求められる資質・能力も指導のための準備も 30 年、20 年前とは大きく変わって、より高いレベルが求められている事がわかると思います。…これからも様々な先生から学びのヒントが生徒に提示されるはずで、きっとそれに応えて成長してくれる生徒と、チャレンジングな瑞江中学校の先生方にご期待ください。拍手！



<3年修学旅行> 9月30日(月)~10月2日(水)

3年生は9月30日(金)から2泊3日で京都・奈良へ修学旅行に行ってきました。

初日は、法隆寺に行き、その後奈良公園で班行動を行いました。法隆寺では国宝であり日本最古の塔である五重塔に目を奪われていました。奈良公園では、東大寺の大仏殿に圧倒された生徒も多く、その後は鹿と戯れるなど楽しんでいる様子が見えました。

2日目は奈良・京都での班別行動でした。観光客も多く、予定通りにいかないこともありましたが、班長を中心に臨機応変に行動することもできたようです。

3日目は京都市内をタクシー行動しました。京都の町を知り尽くしているタクシードライバーの方の説明を受けながら、バスや電車では行きづらい場所を中心に巡りました。どの班もそれぞれのコースで京都ならではの景観を楽しみ、充実した最終日を送っていました。

「節度尊重」というスローガンのもと、節度を守りメリハリや自立を意識して行動し、最高の思い出をつくれたのではないのでしょうか。

A組

B組

C組

D組

<生徒の活躍>

○バドミントン部 令和6年度 秋季総合体育大会 (9/22・23 実施)

女子 団体戦 第3位 (都大会予選出場)

女子 シングルス 第8位

女子 ダブルス 第6位

○剣道部 第31回 第6ブロック中学校秋季剣道大会 (10/6 実施)

女子団体 敢闘賞 (都大会出場決定)

○江戸川区中学校読書感想文コンクール (9/27)

佳作

佳作

佳作

バドミントン部

剣道部

読書感想文コンクール

<お知らせ>

過日お知らせした日程に一部間違いがありましたので、あらためて訂正してお詫び申し上げます。令和7年度に3年生で実施する修学旅行は7月1日から、2年生で実施する移動教室は7月14日からとなります。積み立ての集金日程や金額はすでにご案内した通りですので、よろしく申し上げます。

< 道徳授業地区公開講座 11月9日（土） >

主題

1年生「感謝の心をもつ」

2年生「思いやりを形に」

3年生「互いの個性や立場の尊重」

< 11月・12月上旬までの主な予定 >

- 11月11日（月） 生徒会朝礼 安全指導 3年三者面談
12日（火） 定期考査1週間前（部活動停止）
13日（水） 職員会議
18日（月） 朝礼
19日（火） 期末考査1日目 1理科 2英語 3音楽
20日（水） 期末考査2日目 1国語 2美術 3保体
21日（木） 期末考査3日目 1社会 2数学 3技家 ※避難訓練
22日（金） 3年学力テスト
23日（土） 勤労感謝の日
25日（月） 学年朝礼
27日（水） 5時間授業
12月 2日（月） 朝礼 相談週間始まる（5時間授業） ※9日（月）まで
安全指導 スタディーウイーク始まる
4日（水） 学年会議 5時間授業
6日（金） 江戸川区学力調査

保護者の皆様に、以下のご協力をお願いいたします。

【江戸川区からのお願い】

区のこれからのサービスや負担の在り方に関して、区民の皆さんから広く意見をお聞きするためのアンケートを実施しています。区が今後目指すべき方向性について、誰もがあまり触れたくないことも正直にお伝えした上で、区の考えをお示ししています。10月下旬に全戸配布している広報えどがわ特別号や説明動画をご確認いただき、回答をお願いします。回答期限は11月18日（月）です。

